0032180000
0032180-000
特２５６－１７７

群馬県沼田町町勢要覧

沼田町

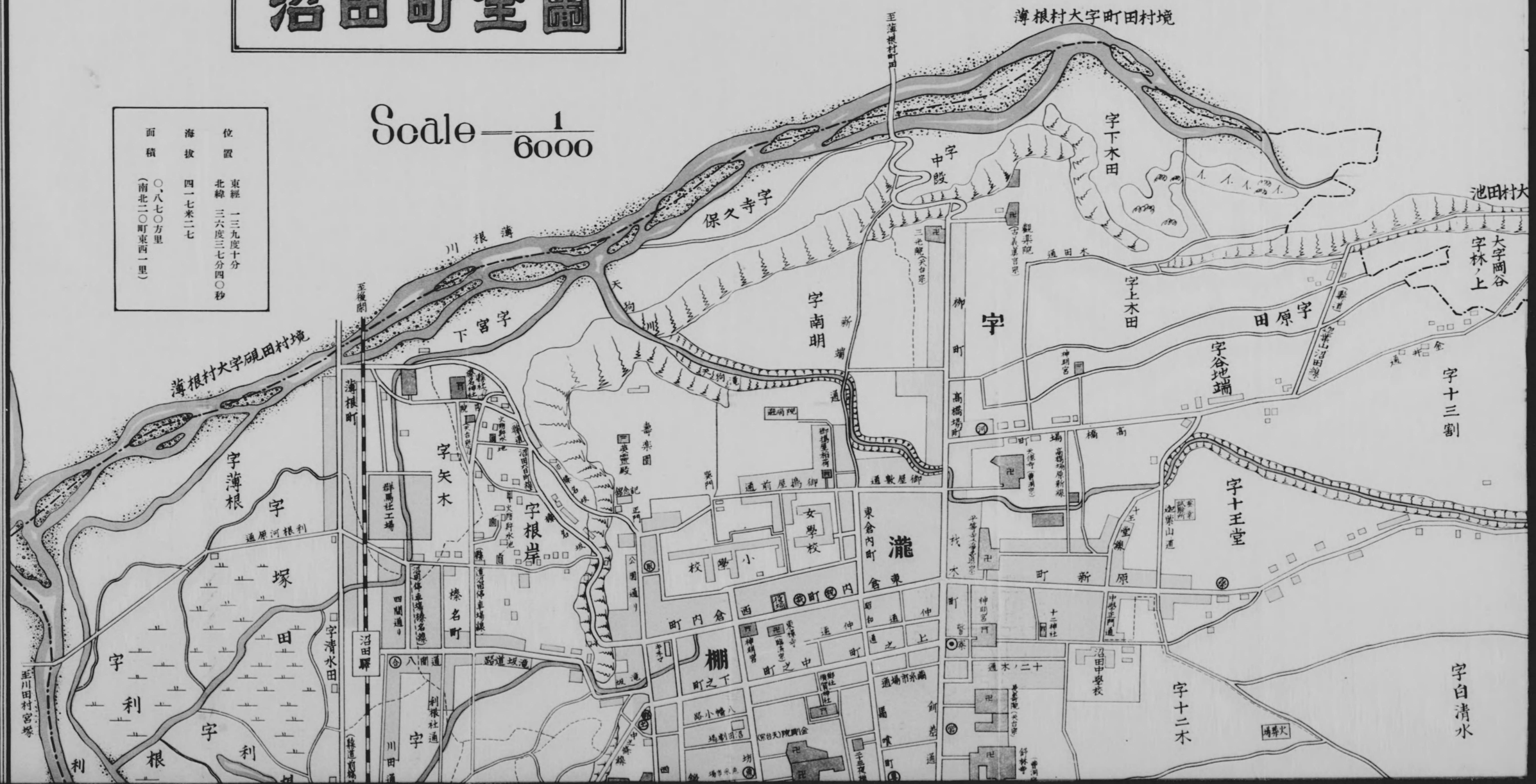
昭和１５

AFB

沼田町全圖

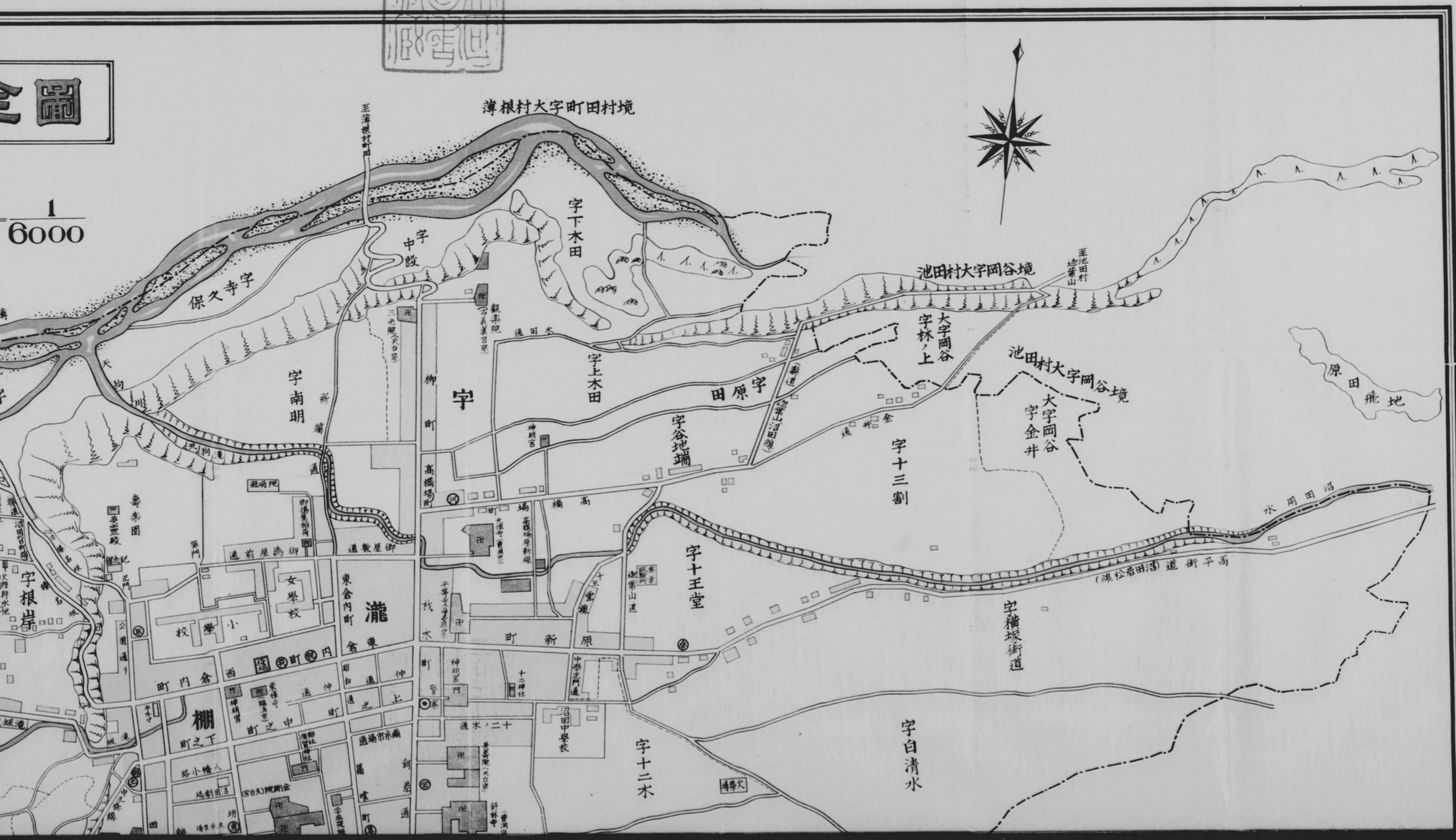
Scale — 1/6000

位置	東經 一三九度十分 北緯 三六度三七分四〇秒
海拔	四一七米二七
面積	〇、八七〇方里 （南北二〇町東西一里）

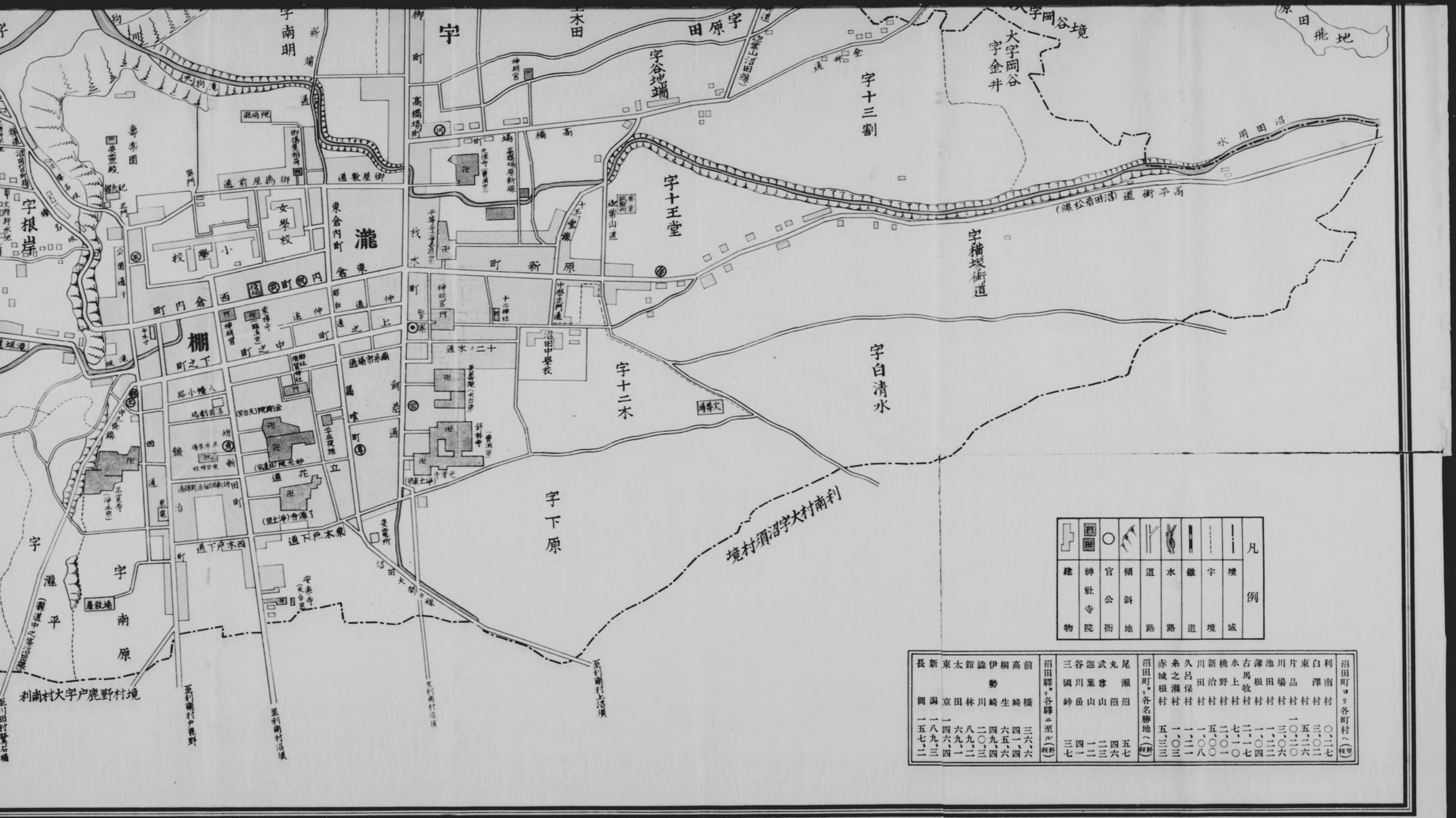

境村田町字大村根薄
至薄根村町田
字下木田
字中殷
字保久寺
薄根川
字宮下
字南明
字上木田
字原田
字谷地端
字十三割
字十王堂
字十二木
字白清水
字薄根
字塚田
字利根
字矢木
字根岸
字清水田
字榛名町
字棚
字瀧
字新町
字高橋場
字柳町
字倉内町
字東倉内町
字西倉内町
字上之町
字中之町
字下之町
字仲通
字八幡小路
字十二ノ木通
字利根河原通
字榛名神社通
字八間通
字川田通
字柳町通
字高橋場通
字御屋敷前通
字御屋敷通
字仲通
字新端
字天狗
字公園通り
字中之通線
字高橋場新線
字十王堂線
字柴山通
字沼田中學校
字沼田小學校
字女學校
字東倉内町
字西倉内町
字上之町
字中之町
字下之町
字八幡小路
字十二ノ木通
字高橋場町
字柳町
字仲通
字新町
字十王堂原
字谷地端
字原田
字上木田
字下木田
字中殷
字保久寺
字宮下
字南明
字矢木
字根岸
字榛名町
字清水田
字利根
字薄根
字白清水
字十三割
字十王堂
字谷地端
字原田
字上木田
字下木田
字中殷
字保久寺
字南明
字矢木
字根岸
字榛名町
字清水田
字利根
字薄根
字白清水
字十三割
字十王堂
字十二木
字棚
字瀧
字新町
字高橋場
字柳町
字倉内町
字東倉内町
字西倉内町
字上之町
字中之町
字下之町
字八幡小路
字十二ノ木通
字仲通
字利根河原通
字榛名神社通
字八間通
字川田通
字柳町通
字高橋場通
字御屋敷前通
字御屋敷通
字仲通
字新端
字天狗
字公園通り
字中之通線
字高橋場新線
字十王堂線
字柴山通
字沼田中學校
字沼田小學校
字女學校
字東倉内町
字西倉内町
字上之町
字中之町
字下之町
字八幡小路
字十二ノ木通
字高橋場町
字柳町
字仲通
字新町
字十王堂原
字谷地端
字原田
字上木田
字下木田
字中殷
字保久寺
字宮下

圖全

$\frac{1}{6000}$



境村田頭字大村根薄
字宮下
字南明
字原田
字谷地端
字十三割
字十王堂
字十二木
字白清水
字下原
字薄根
字塚
字利根河
字利根谷
字矢木
字根岸
字瀧下
字瀧平
字南原
字清水田
字川田
字砂押
字瀧
薄根町
沼田驛
群馬社工場
榛名町
四間通り
八間通
利根社通
川田通
路道坂道
公園通り
寿楽園
東倉内町
瀧
棚
小學校
女學校
西倉内町
中之町
下之町
上之町
仲通
昭和通
十二ノ木通
沼田中學校
中學正門通
新町
高橋場町
高橋
十王堂線
柴崎
沼田大間々線
至利南村上沼須
至利南村沼須
至利南村戸鹿野
至川田村警石橋
至渡川
境村野鹿戸字大村南利
利南村大字沼須村境
至川田村宮塚
川田村大字下川田村境


字南明
字根岸
壽楽園
瀧
棚
小學校
女學校
東倉内町
倉内町
西倉内町
字谷地端
字十三割
字十王堂
字檜坂街道
字白清水
字十二木
字下原
字南原
瀧平
高橋場町
高橋
新町
十二ノ木通
沼田中學校
十二神社
火葬場
水用田沼
高平街道（沼田岩松線）
大字岡谷
字金井
境
飛地
利南村大字沼須村境
境村野鹿戸字大村南利
至利南村戸鹿野
至利南村沼須
至利南村上沼須
沼田大間々線
東木戸下通
西木戸下通
安楽寺
（天台宗）
（浄土宗）
（曹洞宗）
（真言宗）
（日蓮宗）
（浄土真宗）
（浄土宗）
（浄土宗）
（浄土

沼田町勢要覽

地勢

群馬縣の東北隅なる利根郡の南方に在り、赤城、子持、三峰の三山に圍まれたる一盆地片品、利根、薄根の三川により三方を劃まれ獨立せる高地を作り其の西端を占有す。

海拔四百十七米餘を有する市街地は利根川の河身より高きこと約九十米なり。

本郡の地勢は四側皆山岳重疊として絶り東方は手野三里餘にして赤倉新の為め數坂峠、栗生峠、花咲峠の險あり往時雖有山岳重疊を得全郡各方面への連絡全く完備して往復絡繹たりしも年年栗生隧道成りて後自動車交通の便利に昭和七年主都極全部を連絡する國防道に交通上の主要路線として旅客輸物貨の運輸永盛んとなり就中滿鐵新潟縣地方とは商工業取引大いに興隆を來せり。

更に國立公園奥日光裏國門として内外遊覽客誘致に對する施設整備漸次其の緒に着き將來唯に商工業地たるのみならず觀光地として益々其の發展を企畫しつゝあり。

沿革

沼田は和名抄に渭田に作る、沼田根元記に據れば往古沼田は河水流へて大沼にてありしが自風十三年申申十月三日より地震すること數爽夜諸國の山川悉く崩潰し時地拓け次第に居住者あり、されして洪水悉く退去り丘となる爾來春風秋雨幾星霜漸く詩地拓け次第に居住者あり、されば沼の跡向田の如くなるにより沼田と名づくとあり、是に由りて西端の低地を眼下と云ひしは是も昔洪水中の長丘なれば後年遠鄙野原と稱へ、其の西端の低地を眼下と稱へ、其の西端の低地を眼下あると偲ゆ、其他古來七田と稱ふる荘名あり行陽雑筆(秦恬淡著)に據るに沼田、下田(今詳ならず或は用田なるか)選田、礎田、野田(今の古馬牧村西原政所の内築地と稱する名所)荘田(今の薄根村井土上)町田の七荘なりとあり、此の荘名も亦浸然附せしに非ざるを推知すべし。

起原

永祿三年沼田氏の城を築くに及び根岸村(今の榛名町、薄根町)の農人を移して住居しめたりしが、降つて沼田氏の慶安年間に至りて東南に擴張して市井略ゝ備はるに至れり、然れ共住民都て農を業とし商は唯其の副業たるに過ぎざれば毎月僅かに四九の日を市日と定め近隣村落より魚鳥獸類を駄し來りて互ひに貢買する程にして商業頗る振はず平久しき文化、文政の頃に至り漸く世の華美侈奢の風を馴致し本土の如き僻地にして尚且つ其の徐靡を受け嗜好高崇都ての需要品に多きを加へ(竟に輕を例して吸を揚げ純然たる市街を形成するに至れり。

爾來土岐氏數代の治下にありて明治維新を迎へ七十年を經たる今日道路開けて交通網四通八達華客一郡の賑きに渉りて百貨集散商工業日々に發盛を極め坐して得られざるものなく宛然一郡會の觀を呈するに至れり。

土地

| 位置 | 東經一三一、一〇〇 北緯三六、三七四 海面上、四一七、三二 | | |

沼田町勢要覽

沿革

鎌倉幕府北條氏時代の頃より上ありて明治維新に至る。八達華客一部の腐きに沛りて百貨集散尚工業はなはだ見るものなく寂然一都會の觀を呈するに至れり。

土地

位置	東經一三一、一〇〇 北緯三六、三七四 海面上一、四一七、二七
面積	方里 〇、八七〇 廣 東西一里 南北二〇町

民有租稅地別

地目	反	賃貸價格
宅地	二二六、五五〇三〇	一〇九、五九一、一四一九
田	八五六、二二二	二五、九〇七、八四四
畑	三、〇九三、二二〇	三四、二〇二、四四〇
山林	二五三、〇一一	七一八、〇一一
原野	四四、二一九	二七、九三
池沼	一四、四二二	三、二七七
雑種地	四、八八二、二二一	一六、〇四八、一六四
合計		

人口

| | | |

三峰の三山に囲まれたる一盆地片作り其の西端を占有す。
きこと約九十米なり。
事業にして赤倉山脈のため造られ数
巣生隧道成りて後自動車交通の便
する国防線に交通上の主要路線と
力とは商工業振引大いに隆盛を来せ
る施設整備漸次其の緒に着き将来
企業しつゝあり。
田は河水流へて大沼にてありしが
用筏に利潤すり時に鍵戸の厳硬険境
拓け次第に来り住む者あり、され
南りて考ふるに今の市街地域は往
今の桜名町を根岸と云ひしは尤も
発祥地海蒼)に属るに沼田、下田(今
村沼延政所の西裏地と稱する名所)
も亦漸然開せしに非ざるを推知す

沼根町)の農人を移して住居せし
張して市井略ゝ備るに至れり、
は毎月僅かに四九の日を市日と定
しが賑鼓の聲全く絶し泰平
し本土の如き僻地にして尚且つ其
列して疲弊を拯げ純たる市街を
經たる今日道路開けて交通網四通
整め巷して得られざるものなく求

三七四　海面上　四一七、二七
一里　南北　二〇町
貸貸價格
一〇九、五九一、一九
一五、九〇七、八四
三四、二〇二、四〇
七一八、〇一
二七、九三
五〇

一六〇、四八一、六四
村木町、京新町、上之町、馬喰町
其ノ他ノ使帯数　計
八五八
人口　二、八六三
五、〇五人
七三三二　計
一四、四八四
二五四　五一二
一四二
一〇　計　二九六
二三
婚　一六人

男　女　計
三三五、六七三
一四〇、一一二
八二九、七、一八三
一三、一〇八
一、三〇〇
一、三二九
二、六二九
一、二九八
一、三二七
二、六二五
男　女　計
就學兒童數
就學兒童總數
不就學兒童總數
一、三〇〇
一、三二九
二、六二九
一、二九八
一、三二七
二、六二五
男　女　計
就學兒童數
学齢兒童數
三　二　五
九九、八五
九九、八四
九九、八五
在籍兒童
卒業生
創立以来卒業生
男　女　計
一、一一九
一、一一六
二、二八二
一八六　四〇九
二、五三八
七、三五二
小学校
名稱
學級數
教員
校
沼田尋常高等小学校　尋三八　高八　四四　八
二三三
一八六
四〇九
二、五三八
七、三五二
各種學校
名稱　職員　生徒　卒業生
群馬縣立沼田中学校　二七　一四　一、四九一
私立沼田裁縫女学校　一一　一二二　三五七　七三五
私立田中裁縫女学校　三　六三　一五〇
沼田町青年学校　一〇　六七
幼稚園
名稱　保姆　幼兒　滿期
沼田幼稚園　二　七二　八三一

計　一二〇、四八〇
成金　二、五〇六
補給金　一一二
給金　一一二
入金　四、五〇〇
戸數割　四四、一一九
附加稅　一一、三〇〇
附加稅　二、一〇〇
附加稅附加稅　四、七三二
附加稅附加稅　五、九一四
附加稅　四一、一四〇
附加稅附加稅　七三五
稅　七二、六八〇
目　豫算額
事業費　七二五
傭費　一、九六九
防費　三四九
財産造成費　二、七四九
産費　一、五二九
稅　五五
取扱費　六六〇
改良費　四、二一二
國費　七〇二
登費　一五四
診療所費　一〇〇
支出　一、六五〇
備費　一、五〇〇
計　九九、一三三
計畫費　一〇〇
神社總勢員費　一〇〇
空費　六〇〇
復興施設費　一五〇
計　二、三四七

町

財政

町
基本財産
地目　面積　價格　用途　棟數　價格
宅地　六十三坪八合　二反二畝六歩　現金　六五〇　貸家十一棟　三、五〇〇
山林　十六町四反　有價證券　現金　二、一四六九圓　五、一五〇圓

種目　面積(坪)　價格　用途　棟數　價格
役場數地　三、六四坪　建物　三、二〇〇圓
役場廳舍　二　八、六四〇
隔離病舍　三、四三三　四四、四四四　時報鐘樓　一　三、〇〇〇
隔離病舍　四、二〇〇　四四、四四四　役場廳舍　一　三、〇〇〇
屠畜場　三、二〇〇　火葬場　一　三、〇〇〇
屠畜場　八〇　火葬場　一　三、〇〇〇
火葬場數地　一　一、三〇　水道浄水場　五　九、〇〇〇
火葬場　一　三、〇〇〇　共同便所　三　三、〇〇〇
水道鐵管埋設敷地　三五　テニスコート兼衣場　一　八〇
雜地　用水路　治岸保護用地　四三八　織塔火の見　一　三、〇〇〇
計　四、四四四、四三八　計　二、六六、四三八

小学校基本財産
現金　三、四三圓　土地　山林　五反七歩　建物　三、六四坪　三、二〇〇圓
小学校行政財産
價格　地目　三、六四坪　建物　三、六四坪　三、二〇〇圓
價格　三、二〇〇圓
有價證券　四四、四四四圓
社會事業資金　一、〇〇〇圓
役場建築資金　一、〇〇〇圓
役場建築資金　一、〇〇〇圓
合計　四、六九四圓
合計　二、五三二圓

貸付
貸民救助資金　現金　一、六九三圓
罹災救助資金　現金　四、四四四、四四四圓
罹災救助資金　現金　四、四四四、四四四圓
合計　一、九六六圓

議員數
選挙有權者　二、六七七
議員　一
二、五三二
二、五三二

町會議

職名　人員　職名　人員
町會議員　二五
技手補　一
助役　一
書記補　八
書記　一〇
牧人役　一
水道巡視　一
臨時雇　一
公園委員　一
水道委員　一五
技手　四
長代理者　一
區長　一〇
區長　一四
土木委員　一〇
學務委員　一
傳染病豫防委員　一四
方面委員　六
方面委員　一九

他ノ其關係治自

町長　一
町會議員　二五
町會
町
議員　五

諸稅徴收

國稅
地租
宅地　四、六六六
田租　六、四四〇
畑租　八、八〇
雜地租　三、三八
地租附加稅　六、六六六
特別地稅　四、四〇
特別地稅附加稅　四、四〇
縣稅
所得稅　二、三八
所得稅附加稅　四、四〇
營業收益稅　四、四〇
營業收益稅附加稅　四、四〇
家屋稅　八、八〇
家屋稅附加稅　四、四〇
營業稅　三、三〇
營業稅附加稅　三、三〇
雜種稅　二、〇四〇
雜種稅附加稅　二、〇四〇
町稅
營業收益稅　四、四〇
特別稅戸數割　三、〇六〇
家屋稅附加稅　四、四〇
營業收益稅附加稅　六、六〇六
其ノ他　三、六〇
計　三、六〇六
計
其ノ他　三、六〇
雜種稅　二、〇四〇
計　二、〇四〇

商業

組合

名稱　所在地　組合員數
沼田織物小賣商業組合　商工會內　六二
沼田設物肥料小賣商業組合　同　六八
沼田金物商業組合　同　二七
沼田海陸物産商業組合　同　二〇六
沼田自轉車小賣商業組合　同　二四
沼田足袋洋品雜貨小賣商業組合　同　一〇五
沼田砂糖菓子雜貨小賣商業組合　同　二七〇
沼田洋服商業組合　同　一三
沼田既製衣類商業組合　同　二四
沼田木材商業組合　同　一五八
利根燃料商業組合　同　五七
利根菓子商業組合　同　六二
利根菓子商業組合　同　一〇五
沼田自轉車運輸商業組合　同　二四
利根酒類小賣商業組合　同　四六〇
沼田自動車運輸商業組合　同　三六
沼田下駄工業組合　同　七二
利根織工機械工業組合　同　五三
沼田布帛製品工業組合　同　二四
利根菓子工業組合　同　八〇
沼田甲種料理店組合　東倉內町　三九
沼田製物小賣商業組合　同　六八〇
沼田下駄工業組合　同　七二
沼田織物小賣商業組合　商工會內　六二

工業

名稱　所在地　職工數
沼田織物工場　柳町　七三
理研コランダム沼田工場　群馬社沼田工場　薄根町　四五七
主要工場
山田製材工場　馬喰町　二五
石澤木工所　坊新田町　二〇
大竹製材工場　薄根町　二九
中央工業社木工所沼田工場　同　二二
利根共同製絲所　同　四五
高柳撚物工場　棒名町　二〇

製絲
種別　製絲場數　繰絲釜數　職工(男)　職工(女)
生絲　三　四二〇　三一　四七八
生絲產額　一七、二五九貫　價格　八六二、九五〇圓

農業

種別　作付反別　收穫高　價格
水稻　七七四反　二、二九五石　九五、六七〇圓
陸稻　四七四　二一、一六一
桑　一、四〇三　二〇〇、六二一
大麥　五九一　一、四五二　三九、二〇四
小麥　七六〇　六八四　一三、七五六
食用農產物　一　一　一、八六〇
工藝農產物　一　一　一、六七一
穀肥用作物　三五七
桑園
畑　一、四七七反　收穫高　價格
二七三、二四〇貫　六〇、〇二四圓
春蠶　飼育戸數　掃立數量　繭數量　價格
一三一　一〇、一九八　六、六九三圓
一三五　六、五〇四　三、二九六　五一、七三六圓
一三　一、四〇一羽　九、六四二　二、四二九　二四、八二三
一羽　九、六四二　二、五九四　二、六九四　二、五三八
秋蠶　飼育戸數　掃立數量　繭數量　價格
一三一　一〇、一九八　六、六九三圓
一三五　六、五〇四　三、二九六　二四、八二三
一羽　九、六四二　二、四二九　二、六九四　二、五三八
計　一三一　一〇、一九八　六、六九三圓　一三五　六、五〇四　三、二九六　二四、八二三　一羽　九、六四二　二、四二九　二、六九四　二、五三八

畜産

家畜
種別　飼育戸數　總數
牡
馬　一頭　一
牛　一頭　一
豚　三三　五一　三六　一五
羊　一二〇　二四六　二〇四　四二
山羊　三八　四七　四五　二
兎　三四三　九七九　五四三　四三六
鶏　一九二戸　一戸
蜜蜂　二戸
家禽
飼養戸數　一九二戸
成禽　一、四〇一羽　一羽
蜜蜂　數量　二四二、三六〇個　九〇〇個　四二箱
產卵又ハ蜜蜂　價格　九、六九四圓　三六圓　九二圓

交通運輸

種別　飼育戸數　總數
牧戸數　自作　小作　自作小作　計
農家　六二　一三六　一〇八　三〇五

郵便及電信電話

種別　郵便局數　郵便函
特殊通常郵便物　通常郵便物　小包郵便物　計
郵便
集配一　無集配二　一四
電信取扱所
電信
種別　內國日滿目華　外國　計
發信　一二、四二八
着信　一六、一五〇
中繼信　三七、六四七
電話
加入者　公衆電話　加入區域內電話　加入區域外電話
配達　一、三〇六、六〇〇
引受　一、〇〇六、六〇〇
電報
着信　一六、一五〇
中繼信　三七、六四七
發信　一二、四二八
計　一、三〇六、六〇〇
一、〇〇六、六〇〇
一六、一五〇
三七、六四七
一二、四二八
一、三〇六、六〇〇

教宗

基督教會　二　天理教會　一
寺院
浄土宗　三　計　一四　五
古義真言宗　二　真言宗　二　日蓮宗　一
臨済宗　一　曹洞宗　一　天台宗　五
神社神職
縣社　一　鄉社　一　村社　三　無格社　二　神職　二

上水道

池
沈澄　二　濾過　三　浮水　二
給水戸數　七六〇　二八〇　一、一二七　二、一六七
專用放任　專用計量　共用栓使用　計
栓引用　栓引用
給水總量
一人一日給水量
平均　最大
濾過水量一ヶ年　八四、一、五二〇(2.2%)　六九、八八五四(1.9%)
給水總量　〇、一七三(1.7%)　〇、一九六(1.9%)
配水管延長　一三、一二一(1.2%)

衛生

醫師其ノ他
醫師　一〇
歯科醫師　七
藥剤師　九
產婆　一二
看護婦　一
鍼灸按摩　一九
藥種商　一一
館
鍛冶町圖書館　一、一〇七
坊新田圖書館　四、二〇〇
圖書館
和漢書　二〇八
洋書　二〇〇
圖書冊數　二〇〇
閲覧人員　二、〇〇〇
閲覧日數　九〇〇
圖書館
名稱
幼稚園
沼田幼稚園　二　七二
沼田町青年学校　一〇　六七
私立田中裁縫女学校　三　六三
私立裁縫女学校　一一　一二二　三五七
群馬縣立沼田高等女学校　一四　一九八　七三五
群馬縣立沼田中学校　二七　一四九一
各種學校
名稱　職員　生徒　卒業生
高等小学校　八　二二三　一八六　四〇九　二、五三八
沼田尋常高等小学校　尋三八　高八　四四　八　一、一九九　一、一一六　二、二八二　七、三五二
學級數　教員
小学校
名稱
學級數
教員
校
沼田尋常高等小学校
學級數　教員
在籍兒童　卒業生
男　女　計
創立以来卒業生
學齢兒童數
就學兒童數
男　女　計
就學兒童數
學齢兒童總數
男　女　計
學齢兒童數
一、三〇〇　一、三二九　二、六二九
一、二九八　一、三二七　二、六二五
男　女　計
就學兒童數
三　二　五
九九、八五　九九、八四　九九、八五
計　二
男　女　計
五
學校
名稱　職員　生徒　卒業生
群馬縣立沼田中学校　二七　一四九一
私立田中裁縫女学校　一一　一二二　三五七　七三五
私立裁縫女学校　三　六三　一五〇
沼田町青年学校　一〇　六七
幼稚園
名稱　保姆　幼兒　滿期
沼田幼稚園　二　七二　八三一

紀紀たる今日道路開けて交通頗四通八達の秋に当りて得られざるものなく求めに応じて

一里	南北	二〇町
三七四	海面上	四一七、二七

賃貸價格		
一〇九、五九一、四一〇		
一五九〇七八四		
三四、二〇二四〇〇		
七一八〇一		
二七、九三		
五〇		

三三、七七		
一六〇、四八一、六四		
計		
二、八六三		
五、〇五人		
一四、四八四		
五一二		
二九六		
一〇、計		
二三		
一六人		

八五八		
其ノ他ノ世帯数		計
村本町、原新町、上之町、馬喰町、名町、海眼町		
一	二	三
九	二	一
三	三	三
五〇	三七七	三

目	税	
豫算額		
七二六八〇		
四一四〇		
附加税		
地税附加税		
三七五		
家屋税附加税		
五、九一四		
雑種税附加税		
四、七三二		
戸数割附加税		
二、一〇〇		
人口		
一、三〇〇		
給金		
二、五〇六		
補給金		
一三		
助成金		
一三一		
計		
一二〇、四八〇		
目	税	
豫算額		
七二五		
一四〇、一二		
會事業費		
諸費		
一、九六九		
三四五		
産費		
五五		
税		
産費		
一五二九		
金取扱費		
六六〇		
方改良費		
四、二二二		
國費		
七〇二		
燈費		
一五四		
費診療所費		
一〇〇		
支出		
一、五〇〇		
計		
九九、一三三		
備費		
一〇〇		
市計畫費		
一〇〇		
民精神總動員費		
一〇〇		
事援護施設費		
一五〇		
空費		
六〇〇		
本財産造成費		
二、七四九		
計		
二、二〇、四八〇		
備費		
二、三四七		
燈費		
五〇		
定交付金		
三〇		
計		
二八、三九四		

婚	男	女
一〇〇	計	計
一六人		
男	女	計
六、三三五	六、七三	一三、一〇八
六、八二九	七、一八三	一四〇、一二

學	館	男
一、三〇〇	一、三二九	二、六二九
兒	童	不就學兒童總數
三	二	五
男	女	計
九九、八五	九九、八四	就學兒童數
男	女	計
一、二九八	一、三二七	二、六二五
就學歩合		
小	名稱	學級數
沼田小學校	尋常	三
高等小學校	高八	四四
在籍兒童	男	一、一一九
女	一、一六三	二、二八二
計	二、八六	四〇九
創立以來卒業生	七、三五三八	
各	種	學校
群馬縣立沼田中學校	一四	七三五
群馬縣立沼田高等女學校	一九八	一二二
私立桔梗ヶ丘女學女學校	一一	三五七
私立田中裁縫女學校	三	一五〇
沼田町青年學校	一〇	六七
名稱	職員	生徒
二七	四六六	卒業生
一、四九一	七三五	

學	館	男
一、三〇〇	一、三二九	二、六二九
兒	童	總數
三	二	五
男	女	計
九九、八五	九九、八四	就學兒童數
男	女	計
一、二九八	一、三二七	二、六二五
就學歩合		
國	名稱	圖書數
書	和漢書	一九二四
館	洋書	一戸
開館日數		二戸
閲覧人員		
名稱	保姆	幼兒
幼稚園	二	七二
沼田幼稚園	八三一	
淹	沈澄	澄過
浄水	三	二
事用飲用	事用井戸	共用栓使用
給水總量	一人一日給水量	配水管延長
給水戸數		
醫師	薬剤師	産婆
看護婦	減菌按摩	薬種商
一〇	七	九
一一	一九	一一
名稱	職員	生徒
二七	四六六	卒業生
一、四九一	七三五	

學	館	男
一、三〇〇	一、三二九	二、六二九
兒	童	總數
三	二	五
男	女	計
九九、八五	九九、八四	就學兒童數
男	女	計
一、二九八	一、三二七	二、六二五
就學歩合		
創立以来卒業生		
名稱	職員	生徒
二七	四六六	卒業生
一、四九一	七三五	

職	名	人員
議員	二五	技手補
一	四	水道委員
一	公園委員	一
一	産業調査委員	三〇
一	土木委員	一〇
一	薄染病豫防委員	七
一	方面委員	一九
職	名	人員
議員	二五	技手補
一	一	一
一	臨時雇	一
一	水道巡視	一
一	公園委員	一
一	産業調査委員	三〇
一	土木委員	一〇
一	薄染病豫防委員	七
一	方面委員	一九

會	議	
選挙有權者		
二、六七七		
議員數		
一	二、五三二	
一	二、五二二	
栄	議院議員	會
二、五三二		
二、五二二		

財	政	
産		
火葬場敷地		
水道鐵管理設敷地		
諸地用水路	諸岸保護用地	
計		
共同便所		
水道浮水場		
上地山林	町反歩	坪
價格		
物	坪建	坪
價格		
有價證券		
社會事業資金		
社會事業資金		
役場建築資金		
計		
計		
水道浮水場		
共同便所		
テニスコート設在場		
鐵塔火の見		
計		
計		
計